つくば市議会提言書

令和８年10月１日　予算決算委員会

事 業 名	・地域共創・MaaS実証事業（ハンズフリーチケッティング） ・こどもMaaS実証実験事業
事業概要	・ハンズフリーチケッティングサービス（ICカードをタッチすることなくバス運賃等の事後決済を可能にするシステム）の用途拡大に係る実証を実施。令和６年度は日立製作所、筑波大学、今川商事、関東鉄道等と連携して、医療・健康施設に来所する障害者の公共交通による移動をハンズフリーチケッティングで支援する実証実験を実施した。 令和７年度は、対象となる交通機関の拡大を行うとともに、ハンズフリーチケッティングの仕組みを活用した商業施設等との連携サービスの実装に向けた実証を実施する。 ・つくば市中心部において、低速自動運転モビリティにより、子どもや移動困難者を含む住民や来訪者の移動を支援する「こどもMaaS」の社会実装に向けて、子どもの安全確保、運営体制の構築、位置情報表示等のシステム検証を行う。 また、「こどもMaaS」が、以下の課題解決に有効であるか調査する。 ・公共交通機関と距離の離れた公園・行楽スポットを結ぶ移動手段の多様化 ・子ども単独で習い事や学習塾等への安全な移動

提言内容

・地域共創・MaaS実証事業（ハンズフリーチケッティング）については、利用者に制限があること及び事業のためのビーコン設置や公共交通システム変更等で莫大な予算が必要であることから、実証実験の継続について慎重に検討すること。

・こどもMaaS実証実験事業については、従来の対象者である子供よりも高齢者を対象とするほうが適している場合も考えられるなど、科学技術と市民ニーズが十分に合致していない可能性がある。今後、新しい技術と市民ニーズをすり合わせていくため、現場を知ることのできる組織体制の在り方を図るなど、現場のニーズを知る工夫を進めること。

予算決算委員会総務文教分科会